



(写真) 大統領府 X “6月21日 モナガス州 Maturin での選挙活動”

与党の選挙キャンペーン

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎



ネズエラの大統領選まで残すところあと18日となった。

前回の「[ウィークリーレポート No. 362](#)」では、野党の選挙キャンペーンについて紹介した。今回は与党候補であるマドゥロ大統領の選挙キャンペーン活動について確認してみたい。

なお、正式な選挙キャンペーン期間は7月4日～25日だが、実質的にはその前から始まっており、厳密な線引きは存在しない。本稿では、4月中旬から現在までのマドゥロ大統領の活動を紹介したい。

マドゥロ大統領 政府予算にて選挙活動？

マドゥロ大統領は、大統領としての職務を継続しつつ、与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」の推薦候補として大統領選に出馬している。

大統領としての職務の中で地方を訪問しており、その際に行うイベントと選挙キャンペーンの線引きは曖昧で区別されることなく行われているのが実態と言える。

その意味で、マドゥロ大統領は政府予算を使用し選挙活動を行っていることになり、野党側は政府予算の政党利用を批判している。

前述の通り、マドゥロ大統領は、大統領の職務として様々なイベントに出席しているが、これとは別に与党PSUVも各地でマドゥロ大統領の応援イベントを実施している。

PSUVが独自に行っている選挙活動はPSUVの予算で支出されているものと思われるが、マドゥロ大統領の活動はその多くが政府予算から支出されているはずでPSUV・マドゥロ大統領の両輪で選挙キャンペーンが展開されていると言える。

5月までは選挙関連の活動少ない

以下は4月中旬～5月末までのマドゥロ大統領の活動実績である。

マドゥロ大統領のソーシャルメディアの投稿を振り返り可能な限り表に落とし込んだが、選挙と関係性が薄い部分などを中心に完全に書ききれていない部分もある。

日にち	活動内容
4月 17日	ポルトゥゲサ州Expo Venezuelaに出席
18日	ポルトゥゲサ州Araureで演説
	ベトナム副大統領と会合 PDVSA労働者との会合 ロシア検事総長と会合
19日	アラブ首長国連邦代表らと会合 社会主義系の国際フォーラムに出席
21日	全国国民投票を実施
22日	CPIホセ・カーン検事と会合 テレビ番組「Con Maduro+」出演
23日	CPIホセ・カーン検事と会合
24日	米州ポリバル同盟(ALBA)首脳会議に出席 カラカスAntimano訪問
25日	コミュン評議会に出席
29日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
30日	ミランダ州で住宅無償供与式に出席 ケニアのキリスト教リーダーと会合

5月 1日	メーデー 労働者イベントに出席
2日	ガイアナと領土争うエセキボ地域を視察
3日	コヘーデス州Tinaco訪問(軍視察)
5日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
6日	全国州知事・市長らと会合 中国大使と会合
7日	ファルコン州Tocópero訪問(病院新設)
8日	高齢者支援イベントに出席
9日	起業家支援イベントに出席
10日	ベネズエラ文化イベントに出席
11日	ベネズエラ文化イベントに出席
13日	中国共産党Yang Hongtao書記官と会合 テレビ番組「Con Maduro+」出演
14日	ヤラクイ州Cocorote訪問(水道施設新設) 教育・医療関連のイベントに出席
15日	カラカス行脚(家族関連のイベント)
16日	先住民関連のイベントに出席
17日	学生関連のイベントに出席
18日	ヌエバエスパルタ州訪問(経済イベント出席)
19日	TikTok Live
20日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
22日	中国国際貿易次官らと会合 ミランダ州スクレ市Petare学校施設訪問
23日	女性関連のイベントに出席
24日	ポリバル州CVG CABELM訪問
26日	TikTok Live
27日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
28日	デルタアマクロ州訪問(医療関連イベント出席)
29日	高齢者関連のイベントに出席
30日	カラボボ州訪問(病院施設視察)

オレンジ色で塗っている部分は、地方での活動で且つ、その州で一般人らを前に演説を行ったイベント。

この時点では、マドゥロ大統領の選挙活動は本格化しておらず、一般大衆を前にした演説は比較的少ない。

次ページにて、4月中旬～5月末までのマドゥロ大統領の活動に関する写真を紹介したい。

< 4月18日 ポルトゥゲサ州での活動 >



< 5月14日 ヤラクイ州での活動 >



< 4月23日 カラカス Antimano での活動 >



< 5月15日 カラカスでの活動 >



< 4月30日 ミランダ州住宅供与式イベント >



< 5月22日 スクレ市 Petare 学校施設訪問 >



写真を見る限り、客観的に言ってマリア・コリナ・マチャド氏（MCM）の選挙イベントの方が多くの動員があるように思える。

とは言え、極端に参加者が少ないわけではなく、一定の動員力があることは間違いないだろう。

6月から本格的に選挙活動を開始

次に6月～7月8日までのマドゥロ大統領の活動実績を確認したい。

6月 1日	スリア州Maracaibo訪問 (PSUV党大会)
3日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
4日	トゥルヒージョ州訪問 (医療施設を視察)
5日	ミランダ州Charallave訪問 (学校施設を視察)
6日	ララ州訪問
7日	アラグア州Villa de Cura、Cagua訪問
9日	シモンポリバル大学訪問
10日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
12日	アプレ州San Fernando de Apure訪問 グアリコ州Camaguan訪問
13日	メリダ州El Vigia訪問
14日	アマゾナス州訪問
15日	キリスト教関係者と会合
17日	ポリバル州訪問 テレビ番組「Con Maduro+」出演
18日	バリナス州Sabaneta訪問
19日	ミランダ州Caucagua、Guarenas、Guatire訪問
20日	CNEで選挙結果を受け入れる合意書に署名 スリア州Maracaibo訪問 (音楽関連イベント出席)
21日	モナガス州Maturin訪問 ヌエバエスパルタ州Margarita、Maneiro訪問
22日	カラカスAntimanoで演説
23日	クリストバル・メンドサ 国家霊廟入り式典参加
24日	カラボボ州にて軍人を激励
24日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
25日	ラグアイラ州にて選挙イベント出席 ファルコン州Coroにて選挙イベント出席
26日	ララ州Barquisimetoにて選挙イベント出席
27日	スリア州La Canada de Urdaneta石油施設視察
28日	中国との国会樹立50周年記念式典に出席 ミランダ州Paz Castillo、Yareにて選挙イベント
29日	アンソアテギ州Costera Barcelona通り開通式出席

4月～5月の活動実績と比べてオレンジ色の活動が多くなっていることが確認できるだろう。

7月 1日	テレビ番組「Con Maduro+」出演
2日	パリオリンピック出場選手らを激励
3日	軍人昇格式に出席
4日	スリア州San Franciscoにて選挙イベント
6日	ララ州のコミュニンイベントに出席
7日	ミランダ州Petareにて選挙イベント
	軍人士官学校の卒業式に出席
8日	ミランダ州Los Tequesにて選挙イベント

6月からマドゥロ大統領は本格的に選挙活動を始められていることが分かる。

なお、MCM氏は全国23州を1度は訪問しようとしており、計画的に行き先を決めているが、マドゥロ大統領については同じ州や都市を何度も訪問することがある。

選挙活動を念頭にして行き先を決めているというよりも、「住宅の無償供与式」や「医療施設の開設式」や「補修工事が完了した学校施設のお披露目」など出席する価値のあるイベントが行われるのであれば訪問するというイメージである。

以下、6月以降にマドゥロ大統領が出席した選挙関連イベントの写真を紹介したい。

< 6月1日 スリア州での活動 >



< 6月4日 トゥルヒージョ州での活動 >



< 6月20日 スリア州での活動 >



< 6月21日 ヌエバエスパルタ州での活動 >



写真を見ると寄り気味の写真が多い。
遠くを移すと人がまばらな時に、それを隠すために寄り気味で写真を撮影する。

< 6月22日 カラカス Antimano での活動 >



< 6月26日 ララ州での活動 >



また、6月22日のカラカス Antimano での写真は引き気味に撮影されているが、比較的狭い路地で撮影されており、密集しやすい。

写真を見る限り、直近の選挙活動を見ても野党陣営の方が多く動員できている印象はぬぐえない。

最後は参考までに MCM 氏の演説時の写真を掲載したい。マドURO大統領の選挙イベントの動員と比べてどちらの方が多いとを感じるだろうか。

野党の選挙イベントの他の写真は「[ウィークリーレポート No.362](#)」を確認されたい。

<ポルトゥゲサ州での演説の様子>



<ファルコン州での演説の様子>



<スリア州での演説の様子>



<トゥルヒージョ州での移動中の写真>



<アラグア州での演説の様子>



<アプレ州での演説の様子>



以上